

ALGORITHMS

DELAY	
• Analog	1 - 2
• Tape	3
• Digital	4 - 5
• LoFi	6
• Modulated	7
• Filter	8
• 3-Heads	9
• Ping-Pong	10
• Android	11
• Ambiental	12
• Dual (Digital - Digital)	13
• Dual (Digital - Analog)	14
• Dual (Digital - Pitch)	15
• Diffuse	16 - 17
• Reverse	18 - 19

REVERB	
• Aether	20
• Chamber	20
• Spring	21
• Plate	22
• Spatium	23
• Shimmer	24
• Marble	25
• Modulated	25
• Tremble	26

Analog

(D E L A Y)

ANALOG

(True Stereo)

- ◆ TIME : **DELAY TIME**をコントロール
- ◆ MIX : **WET** と **DRY**をコントロール

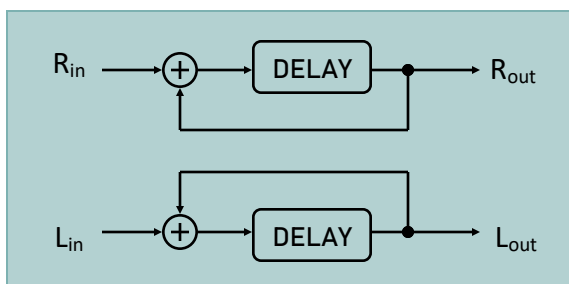
アナログのヴォイシングが特徴のディレイ。モジュレーション、ディレイ音の減衰劣化、サチュレーション、オシレーション対応。Rchのディレイ・タイムは独立して0m~200msで設定、テンポ入力とそれに合わせた符割(subdivision)設定も可能。ステレオ対応で、ピンポン・ディレイも作成可能。

- Param 1: **REPEATS** - リピートの回数を設定。95%以上でオシユレートし始めます。
- Param 2: **TONE** - リピート音のトーンを設定。

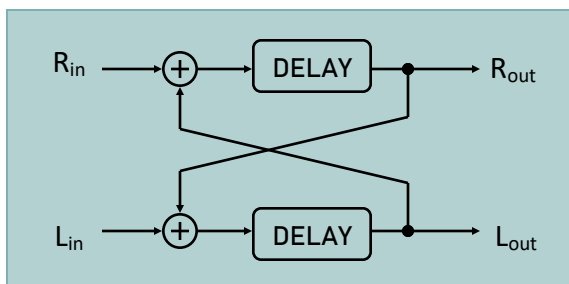
- **Soft** : アタックの柔らかい、スムーズなサウンド。
- **Dark** : Soft と Warmの中間サウンド。
- **Warm** : パンチのある、ヴィンテージ・サウンド。

- Param 3: **DEGRADE** - ディレイ音が減衰するにあたり、削られる高域の量。
- Param 4: **SATURATE** - ディレイ音のサチュレーション量。
- Param 5: **MOD DEPTH** - ディレイ音のモジュレーション量。
- Param 6: **MOD RATE** - ディレイ音のモジュレーション周期。
- Param 7: **FEEDBACK ROUTING** - ディレイのフィードバック方法。(下図参照)

Standard Feedback

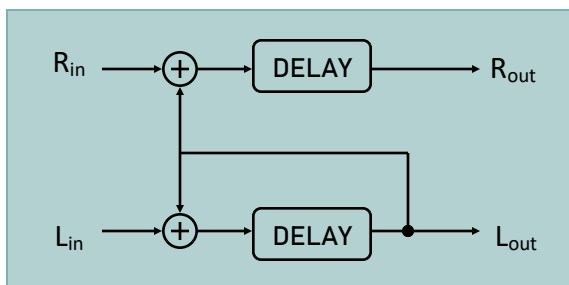


Cross-Coupled Feedback ピンポン・ディレイ



Left-Coupled Feedback

左右のフィードバックが、Lchの出力を使用。L/R Slapback で使用すると、左右にバウンスするディレイが作成できます。



Analog

(D E L A Y)

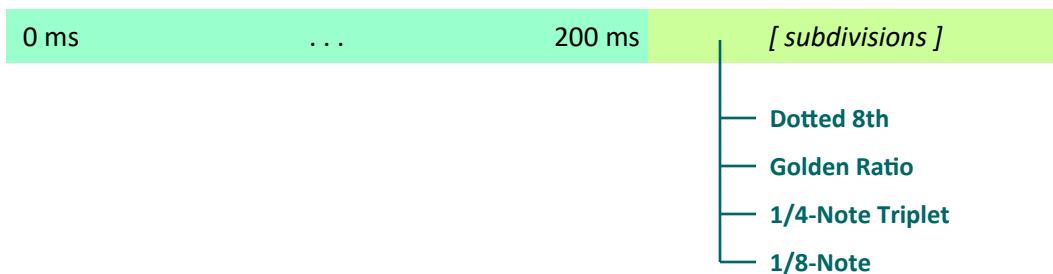
ANALOG

(True Stereo)

- **Param 8: L/R SLAPBACK** - Lchで設定されたディレイ・タイムに対して反応するRchのオフセットを設定。
 - ・Independent : Rchが独立したディレイ・タイムで動作。
 - ・tempo-synced : テンポにシンクロ。

- Independent -

- Synced to Global Tempo -



Tips: 便利な使用方法

1. 低い設定 (1 ~ 50 ms) で使用すると、ステレオ・イメージが広がる。
2. 100 ms以上、またはtempo-syncedで設定し、ピンポン・ディレイを作成。

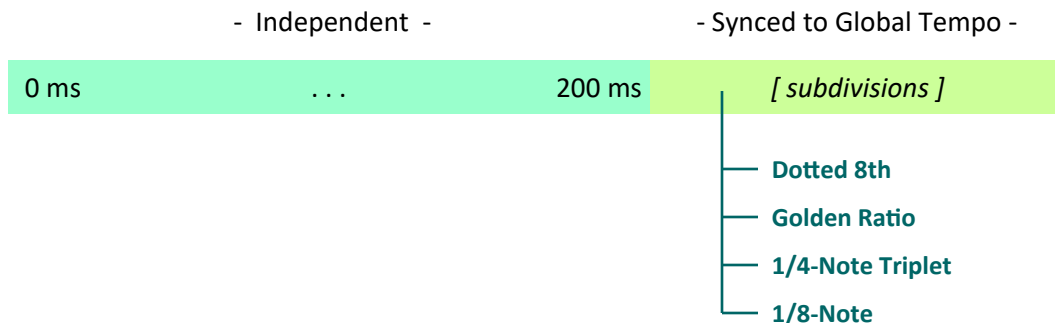
Tape (DELAY)

TAPE (True Stereo)

- ◆ TIME : **DELAY TIME**をコントロール
- ◆ MIX : **WET** と **DRY**をコントロール

暖かいサウンドの、テープエコー。

- Param 1: **REPEATS** - リピートの回数を設定。95%以上でオンレートし始めます。
- Param 2: **TONE** - リピート音のトーンを設定。
- Param 3: **WOW & FLUTTER** - テープ劣化による揺らぎ量。
- Param 4: **SATURATE** - デレイ音のサチュレーション量。
- Param 5: **MOD DEPTH** - デレイ音のモジュレーション量。
- Param 6: **MOD RATE** - デレイ音のモジュレーション周期。
- Param 7: **CRINKLE** - テープ劣化によるピッチやノイズを再現。**WOW & FLUTTER** よりも過激な効果が得られます。0に設定すると、この効果をオフにできます。
- Param 8: **L/R SLAPBACK** - Lchに対するRchのデレイ・タイムのオフセットを設定します。
「Independent」か「tempo-synced」によって設定や効果が異なります。
(下図参照)



Tips: 便利な使用方法

1. 低い設定 (1 ~ 50 ms) で使用すると、ステレオ・イメージが広がる。
2. 100 ms以上、またはtempo-syncedで設定し、ピンポン・デレイを作成。

Digital

(D E L A Y)

DIGITAL

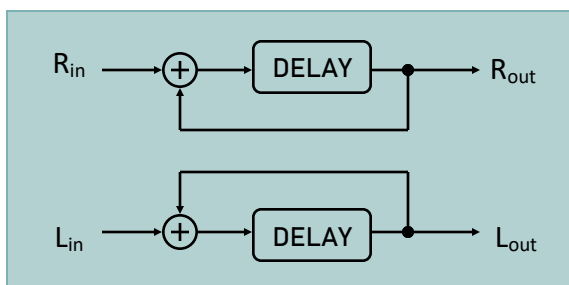
(True Stereo)

- ◆ TIME : **DELAY TIME**をコントロール
- ◆ MIX : **WET** と **DRY**をコントロール

もっともスタンダードなデジタル・ディレイ。モジュレーション、フィルター、アタックを調整可能。Rchのディレイ・タイムは独立して0m~200msで設定、テンポ入力とそれに合わせた符割(subdivision)設定も可能。ステレオ対応で、ピンポン・ディレイも作成可能。

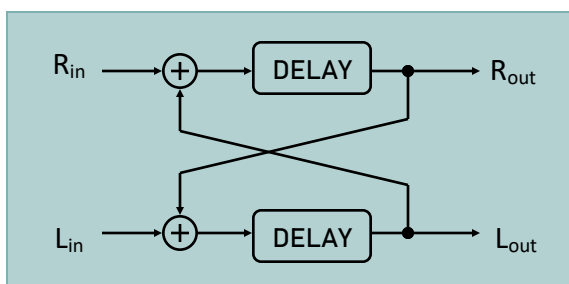
- Param 1: **REPEATS** - リピートの回数を設定。95%以上でオシレートし始めます。
- Param 2: **TONE** - リピート音のトーンを設定。
- Param 3: **MOD DEPTH** - ディレイ音のモジュレーション量。
- Param 4: **MOD RATE** - **MOD RATE** - ディレイ音のモジュレーション周期。
- Param 5: **SMEAR** - リピート音のアタックを設定。
- Param 6: **LOW CUT** - ディレイ音が減衰するにあたり、削られる低域の量。
- Param 7: **FEEDBACK ROUTING** - ディレイのフィードバック方法。(下図参照)

Standard Feedback



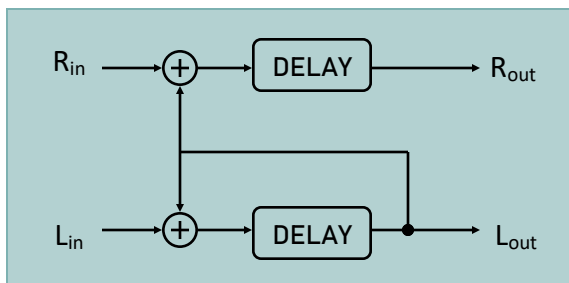
Cross-Coupled Feedback

ピンポン・ディレイ



Left-Coupled Feedback

左右のフィードバックが、Lchの出力を使用。L/R Slapback で使用すると、左右にバウンスするディレイが作成できます。



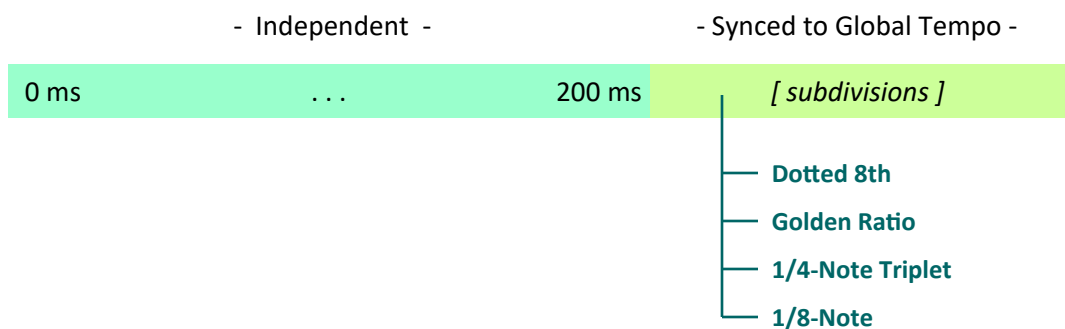
Digital

(D E L A Y)

DIGITAL
(True Stereo)

- ◆ TIME knob controls **DELAY TIME**
- ◆ MIX knob controls **WET** and **DRY**

- **Param 8: L/R SLAPBACK** - Lchで設定されたディレイ・タイムに対して反応するRchのオフセットを設定。
 - ・Independent : Rchが独立したディレイ・タイムで動作。
 - ・tempo-synced : テンポにシンクロ。



Tips: 便利な使用方法

1. 低い設定 (1 ~ 50 ms) で使用すると、ステレオ・イメージが広がる。
2. 100 ms以上、またはtempo-syncedで設定し、ピンポン・ディレイを作成。

LoFi (D E L A Y)

LOFI

(True Stereo)

- ◆ TIME : **DELAY TIME**をコントロール
- ◆ MIX : **WET** と **DRY**をコントロール

リピート音のサンプリング周波数やビットレートを低下させ、サウンドを「破壊」します。
ノイズの多い古い機器や、壊れかけのサウンドを再現するのに有効です。

- Param 1: **REPEATS** - リピートの回数を設定。
- Param 2: **LOFI MIX** - リピート音の、クリーン信号とLoFi信号のバランスを調整。

0 to 49

----- ドライ信号は100%、エフェクト信号は0%～100%で設定。

50

————— ドライ信号100%、エフェクト信号100%で設定。

51 to 100

----- エフェクト信号は100%、ドライ信号は0%～100%で設定。

- Param 3: **SAMPLE RATE** - サンプルレートを設定。

1 kHz

4 kHz

7 kHz

13 kHz

2 kHz

5 kHz

8 kHz

20 kHz

3 kHz

6 kHz

10 kHz

40 kHz

- Param 4: **BIT DEPTH** - ビットレートを設定。

6 bit

10 bit

14 bit

20 bit

7 bit

11 bit

15 bit

24 bit

8 bit

12 bit

16 bit

9 bit

13 bit

18 bit

- Param 5: **VOICING** - リピート音のヴォイシングを設定。

Off

Phonograph

Megaphone

Intercom

Vinage Amp

AM Radio

Cellphone

- Param 6: **TONE** - リピート音のトーンを設定。
- Param 7: **MOD DEPTH** - デレイ音のモジュレーション量。
- Param 8: **MOD RATE** - デレイ音のモジュレーション周期。

Modulat-

(D E L A Y)

MODDLYT

(True Stereo)

- ◆ TIME : **DELAY TIME**をコントロール
- ◆ MIX : **WET** と **DRY**をコントロール

ディレイとデチューン、コーラス / フランジャーのコンビネーション。RESONANCEの操作幅が広く、過激なフランジャーのような効果まで得られます。

- Param 1: **REPEATS** - リピートの回数を設定。
- Param 2: **DETUNE** - リピート音のピッチのズレ(デチューン)量。
- Param 3: **DETUNE PITCH** - ピッチのズレ(デチューン)のピッチ幅。

1 cents	6 cents	11 cents
2 cents	7 cents	12 cents
3 cents	8 cents	13 cents
4 cents	9 cents	14 cents
5 cents	10 cents	15 cents

- Param 4: **CHORUS** - ディレイ音のコーラス / フランジャー量。
- Param 5: **MOD DEPTH** - ディレイ音のモジュレーション量。
- Param 6: **MOD RATE** - ディレイ音のモジュレーション周期。
- Param 7: **RESONANCE** - フランジャーの周期。
- Param 8: **TONE** - リピート音のトーンを設定。

Filter

(D E L A Y)

FILTER

(True Stereo)

- ◆ TIME : **DELAY TIME**をコントロール
- ◆ MIX : **WET** と **DRY**をコントロール

ディレイとマルチ・モードのフィルターのコンビネーション。
フィルターの位置はディレイ手前(Pre)と後ろ(Post)に設定可能。

- ・ Envelope Filter(ダイナミクスに応じて周波数スweep)
- ・ Fixed Filter(周波数は固定、マニュアル操作)

- Param 1: **REPEATS** - リピートの回数を設定。
- Param 2: **FILTER MODE** - フィルターのモード。

- **Envelope (Pre)** - エンベロープ・フィルター(ディレイ手前)
- **Envelope (Post)** - エンベロープ・フィルター(ディレイ後ろ)
- **Manual** - フィルターの周波数は固定。ノブでマニュアル操作。

- Param 3: **FILTER TYPE** - フィルターの種類。

- **Lowpass**
- **Bandpass**
- **Highpass**

- Param 4: **FILTER/DRY MIX** - リピート音の、クリーン信号とフィルタリングされた信号のバランスを調整。

0 to 49

----- ドライ信号は100%、エフェクト信号は0%~100%で設定。

50

————— ドライ信号100%、エフェクト信号100%で設定。

51 to 100

----- エフェクト信号は100%、ドライ信号は0%~100%で設定。

- Param 5: **SENSE/FREQ** - エンベロープ・フィルターの繊細さを設定 (Envelopeモード時)
- 周波数を設定 (Manualモード時)
- Param 6: **RESONANCE** - フィルターのレゾナンス(Q値)を設定。
- Param 7: **MOD DEPTH** - ディレイ音のモジュレーション量。
- Param 8: **MOD RATE** - ディレイ音のモジュレーション周期。

Tips:

FILTER MODE を Manualに、FILTER TYPE を Lowpass か Bandpassに設定し、エクスプレッション・ペダルを SENSE/FREQ パラメーターを操作するように設定すると、ワウ・ペダルのような効果が得られます。

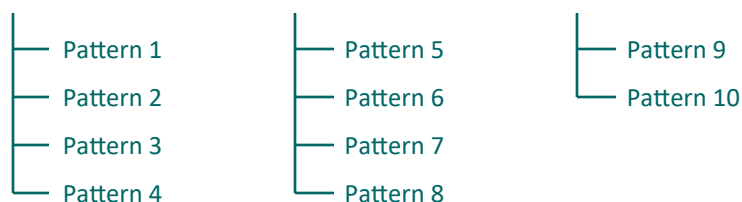
3-
(D E L A Y)

3 HEADS
(True Stereo)

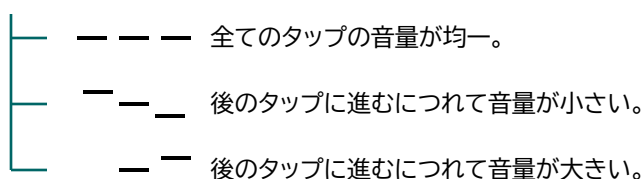
- ◆ TIME : **DELAY TIME**をコントロール
- ◆ MIX : **WET** と **DRY**をコントロール

Heads / tapsを含む3つの出力を持つ、ステレオ・ディレイ。A stereo delay with three output 'heads'

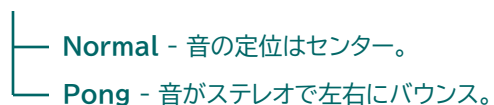
- Param 1: **REPEATS** - リピートの回数を設定。
- Param 2: **TAPS PATTERN** - フィルターの動作モードを選択。



- Param 3: **TAP TAPER** - タップのテーパー(音量)を設定。



- Param 4: **TONE** - リピート音のトーンを設定。
- Param 5: **RESONANT FREQ** - デイレイ・ヘッド2の出力にインサートされるローパス・フィルターの周波数設定。
0に設定すると、この効果をオフにできます。
- Param 6: **SMEAR** - リピート音のアタックを設定。デイレイ・ヘッド2の出力にのみ適用。
- Param 7: **MODULATION** - リピート音のモジュレーション量を設定。
- Param 8: **STEREO SPREAD** - リピート音のステレオ感(広がり)を設定。



Ping-

(DELAY)

PONG

(Inputs Summed)

- ◆ TIME : **DELAY TIME**をコントロール
- ◆ MIX : **WET** と **DRY**をコントロール

左右にバウンスするステレオ・ディレイです。
使用するディレイは、Digital / Analogが選択可能。

- Param 1: **REPEATS** - リピートの回数を設定。
- Param 2: **BOUNCE WIDTH** - リピート音のステレオ感(広がり)を設定。この効果はステレオ出力時のみ効果を発揮します。
- Param 3: **DELAY STYLE** - ディレイのスタイルを選択。



- Param 4: **TONE** - リピート音のトーンを設定。
- Param 5: **SMEAR/DEGRADE** - Digital : リピート音のアタックを設定。
Analog : リピート音の信号の劣化を設定。
- Param 6: **LOW CUT/SATURATE** - Digital : リピート音のローカットの量を設定。
Analog : リピート音のサチュレーション具合を設定。
- Param 7: **MOD DEPTH** - ディレイ音のモジュレーション量。
- Param 8: **MOD RATE** - ディレイ音のモジュレーション周期。

Android

(D E L A Y)

NDROID

(True Stereo)

- ◆ TIME : **DELAY TIME**をコントロール
- ◆ MIX : **WET** と **DRY**をコントロール

ディレイとリングモジュレーターの複合エフェクト。シフト量はLFO、マニュアルどちらでも操作可能。

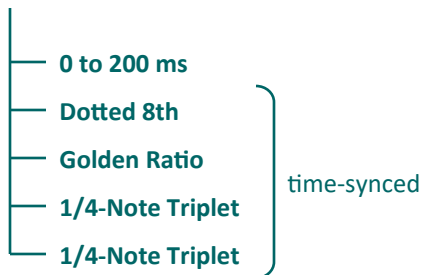
- Param 1: **REPEATS** - リピートの回数を設定。
- Param 2: **FREQ SHIFT** - 低域周波数のシフト量を設定。
- Param 3: **LFO SHAPE** - 周波数シフトのLFOシェイプを設定。



- Param 4: **LFO SPEED** - LFOスピードの設定。
- Param 5: **RINGMOD MIX** - リピート音の、クリーン信号とシフトされた信号のバランスを調整。

0 to 49	----- ドライ信号は100%、エフェクト信号は0%～100%で設定。
50	————— ドライ信号100%、エフェクト信号100%で設定。
51 to 100	----- エフェクト信号は100%、ドライ信号は0%～100%で設定。

- Param 6: **TONE** - リピート音のトーンを設定。
 - Param 7: **MODULATION** - リピート音のモジュレーション量を設定。
- Param 8: **L/R SLAPBACK** - Lchで設定されたディレイ・タイムに対して反応するRchのオフセットを設定。



Tips: 便利な使用方法

1. 低い設定 (1 ~ 50 ms) で使用すると、ステレオ・イメージが広がる。
2. 100 ms以上、またはtempo-syncedで設定し、ピンポン・ディレイを作成。

Ambien-

(D E L A Y)

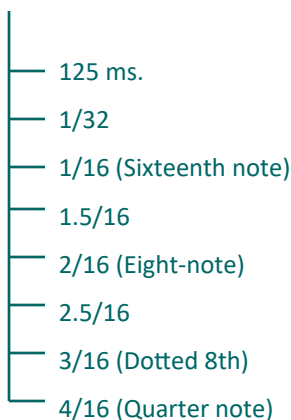
MBIENT
(Inputs Summed)

- ◆ TIME : **DELAY TIME**をコントロール
- ◆ MIX : **WET** と **DRY**をコントロール

「タイムにシンクした黄金比」がベースにある、リバーブのようなアンビエンス+ピッチシフト+リズムカルなステレオ効果を作り出す、特別なディレイです。

高いRepeats(フィードバック)設定では、リバーブのようなウェットな空間が作り出されます。また、ピッチもオクターブ&5thを加えることで、独特なシマー効果が得られます。

- Param 1: **REPEATS** - リピートの回数を設定。
- Param 2: **OCTAVE** - オクターブ・サウンドの強さを設定。
- Param 3: **PERFECT 5TH** - 5th(5度上)サウンドの強さを設定。
- Param 4: **PITCH LAG** - テンポとシンクした、各ボイス間のインターバルを設定



- Param 5: **TONE** - リピート音のトーンを設定。
- Param 6: **SMEAR** - リピート音のアタックを設定。
- Param 7: **MOD DEPTH** - ディレイ音のモジュレーション量。
- Param 8: **MOD RATE** - ディレイ音のモジュレーション周期。

Dual (DELAY)

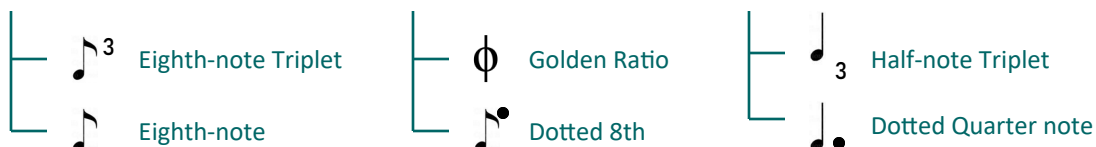
DIGDIG

(True Stereo)

- ◆ TIME : **DELAY TIME**をコントロール
- ◆ MIX : **WET** と **DRY**をコントロール

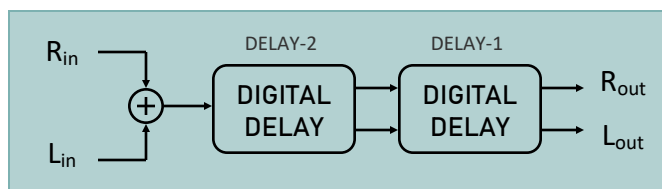
2つの独立したディレイをシリーズ、パラレル、デュアル・モノで組み合わせられます。Delay-2はDelay-1のテンポに追従し、その符割も設定できます。各ディレイのリピートと、ミックスも独立して調整可能。

- Param 1: **REPEATS (DELAY 2)** - DELAY 2の、リピート回数を設定。
- Param 2: **REPEATS (DELAY1)** - DELAY 1の、リピート回数を設定。
※ 0に設定すると、Param1ノブがDelay 1とDelay 2両方のRepeatsとして動作します。
- Param 3: **MIX (DELAY 2)** - DELAY 2の、Dry / Wetバランスを調整。
- Param 4: **MIX (DELAY 1)** - DELAY 1の、Dry / Wetバランスを調整。
- Param 5: **TIME RATIO** - 2つのディレイ間のインターバル(符割)を設定。

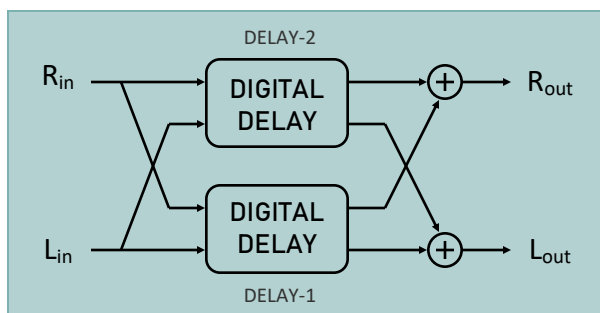


Param 6: **ROUTING** - 2つのディレイのルーティングを設定(3種)。

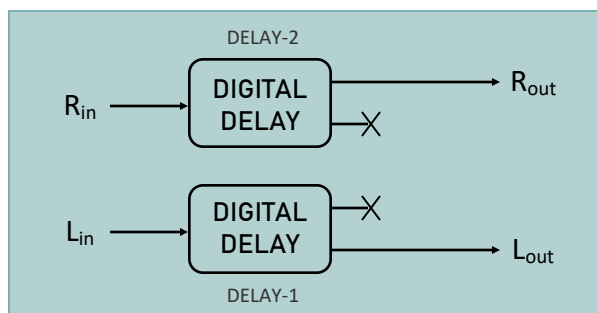
Series



Parallel



Dual Mono



- Param 7: **TONE** - リピート音のトーンを設定。
- Param 8: **MODULATION** - リピート音のモジュレーション量を設定。

Dual (DELAY)

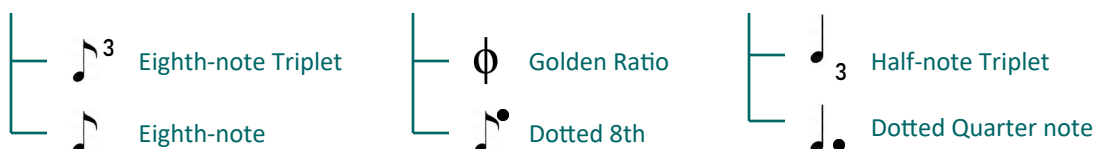
DIGANA

(True Stereo)

- ◆ TIME : **DELAY TIME**をコントロール
- ◆ MIX : **WET** と **DRY**をコントロール

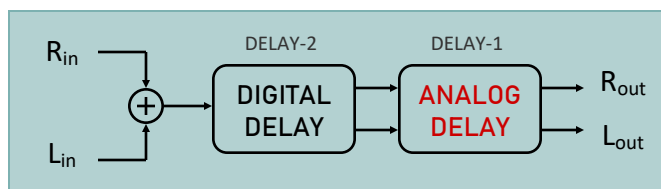
デジタル・ディレイとアナログ・ディレイをシリーズ、パラレル、デュアル・モノで組み合わせられます。Delay-2はDelay-1のテンポに追従し、その符割も設定できます。各ディレイのリピートと、ミックスも独立して調整可能。

- Param 1: **REPEATS (DIG)** - DELAY 2(デジタル・ディレイ)の、リピート回数を設定。
- Param 2: **REPEATS (ANA)** - DELAY 1(アナログ・ディレイ)の、リピート回数を設定。
※ 0に設定すると、Param1ノブがDelay 1とDelay 2両方のRepeatsとして動作します。
- Param 3: **MIX (DIG)** - DELAY 2(デジタル・ディレイ)の、Dry / Wetバランスを調整。
- Param 4: **MIX (ANA)** - DELAY 1(アナログ・ディレイ)の、Dry / Wetバランスを調整。
- Param 5: **TIME RATIO** - 2つのディレイ間のインターバル(符割)を設定。

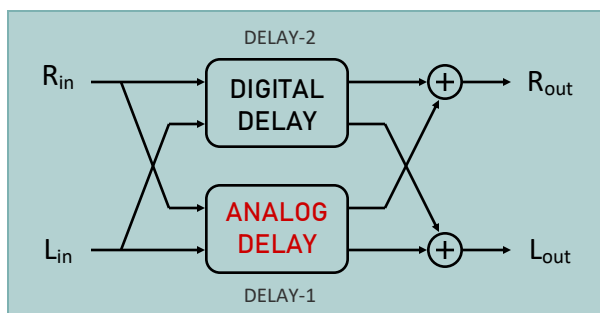


Param 6: **ROUTING** - 2つのディレイのルーティングを設定(3種)。

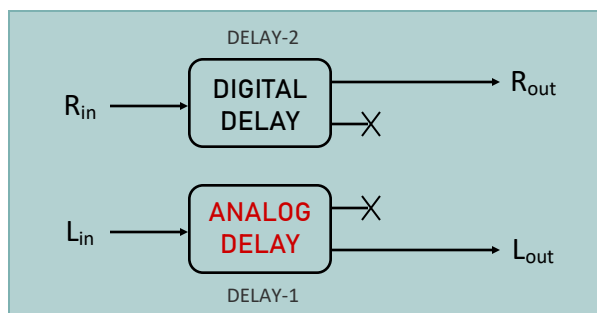
Series



Parallel



Dual Mono



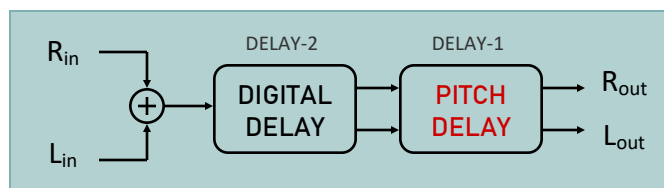
- Param 7: **TONE** - リピート音のトーンを設定。
- Param 8: **MODULATION** - リピート音のモジュレーション量を設定。

Dual (DELAY)

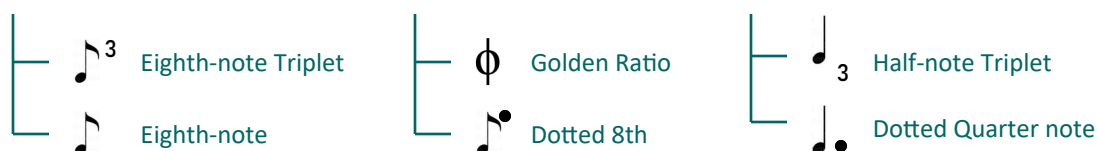
DIGPIT
(Inputs Summed)

- ◆ TIME : **DELAY TIME**をコントロール
- ◆ MIX : **WET** と **DRY**をコントロール

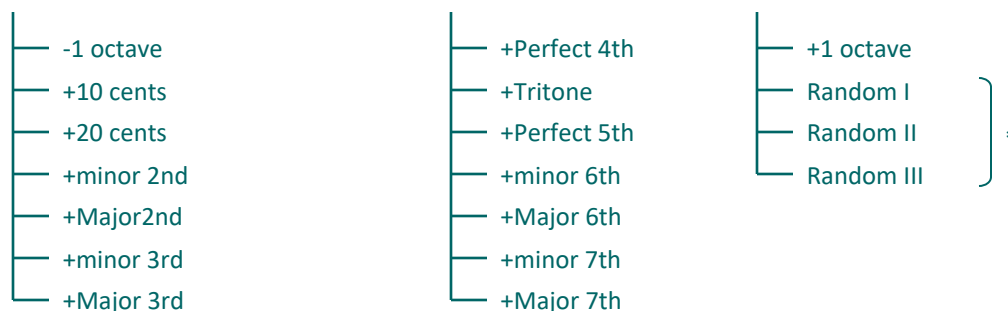
デジタル・ディレイと、ピッチ・ディレイをシリーズ、パラレル、デュアル・モノで組み合わせられます。Delay-2はDelay-1のテンポに追従し、その符割も設定できます。各ディレイのリピートと、ミックスも独立して調整可能。



- Param 1: **REPEATS** - 両ディレイの、リピート回数を設定。
- Param 2: **TIME RATIO** - 2つのディレイ間のインターバル(符割)を設定。



- Param 3: **MIX (PIT)** - DELAY 2(ピッチ・ディレイ)の、Dry / Wetバランスを調整。
- Param 4: **MIX (DIG)** - DELAY 1(デジタル・ディレイ)の、Dry / Wetバランスを調整。
- Param 5: **TONE** - リピート音のトーンを設定。
- Param 6: **MODULATION** - リピート音のモジュレーション量を設定。
- Param 7: **PITCH** - ピッチ・ディレイのインターバル(ピッチ)を設定。



Random I : [-12, +4, +5, +7, +9, +11, and +12 semitones] の中でランダムにピッチが変化します。こちらはメジャー・キーとなっています。

Random II : [-12, +3, +5, +6, +7, +10, and +12 semitones] の中でランダムにピッチが変化します。こちらはブルース・キーとなっています。

- **Random III**: クロマチック・スケールの中でランダムにピッチが変化します。

Param 8: **LFO SPEED** - PITCHでRandomが選択されている時の、ピッチ変化スピードを設定。

Diffuse

(D E L A Y)

DFFUSE

(True Stereo)

- ◆ TIME : **DELAY TIME**をコントロール
- ◆ MIX : **WET** と **DRY**をコントロール

リバーブのような拡散力のあるデジタル・ディレイを、シリーズ、パラレル、デュアル・モノで組み合わせられます。

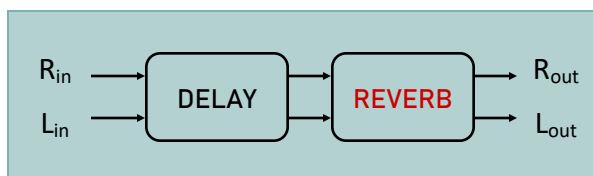
- Param 1: **REPEATS** - リピート回数を設定。
- Param 2: **DLY/VERB MIX** - ディレイ / リバーブのMIXバランスを調整。

0 to 49	-----	ディレイ信号は100%、リバーブ信号は0%～100%で設定。
50	————	ディレイ信号、リバーブ信号ともに100%
51 to 100	-----	ディレイ信号は100%、ディレイ信号は0%～100%で設定。

- Param 3: **VERB DECAY** - リバーブのディケイを設定。
- Param 4: **VERB TONE** - リバーブの、ディケイのトーンを設定。
- Param 5: **DELAY TONE** - ディレイの、リピートのトーンを設定。
- Param 6: **MODULATION** - ディレイの、リピート音のモジュレーション量を設定。
- Param 7: **ROUTING** - ディレイとリバーブのルーティングを設定(3種)。

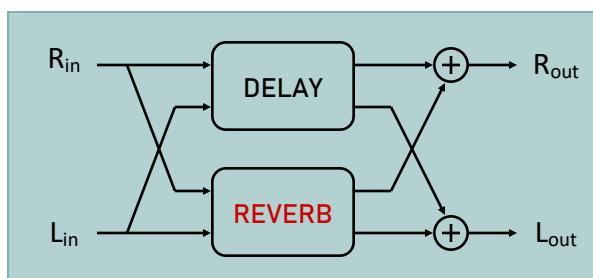
Series

ディレイからリバーブ



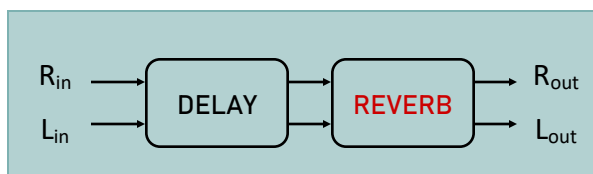
Parallel

ディレイとリバーブが独立して処理され、出力で合体する。



Post-Echo

基本はSeriesと同じだが、リバーブはディレイの1音目が鳴るまでかからない。



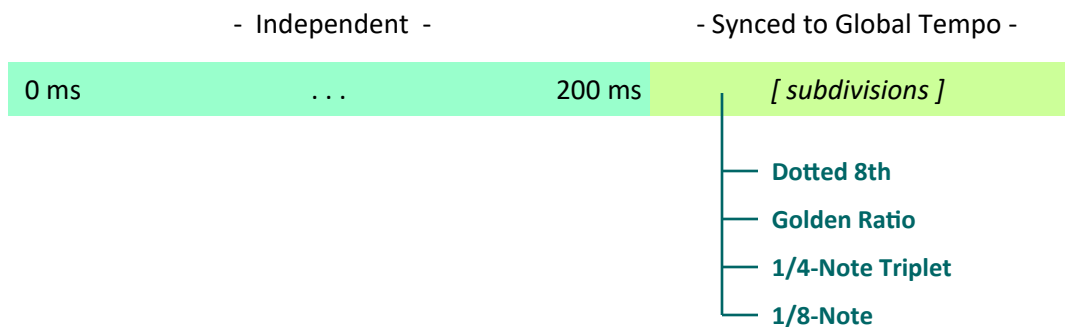
Diffuse

(D E L A Y)

DFFUSE
(True Stereo)

- ◆ TIME : **DELAY TIME**をコントロール
- ◆ MIX : **WET** と **DRY**をコントロール

Param 8: L/R SLAPBACK - Lchで設定されたディレイ・タイムに対して反応するRchのオフセットを設定。
「Independent」の場合はタイム(0～200ms)を、「tempo-synced」の場合はインターバルを設定します。



Tips: 便利な使用方法

1. 低い設定 (1 ~ 50 ms) で使用すると、ステレオ・イメージが広がる。
2. 100 ms以上、またはtempo-syncedで設定し、ピンポン・ディレイを作成。

Reverse

(D E L A Y)

REVRSE

(Inputs Summed)

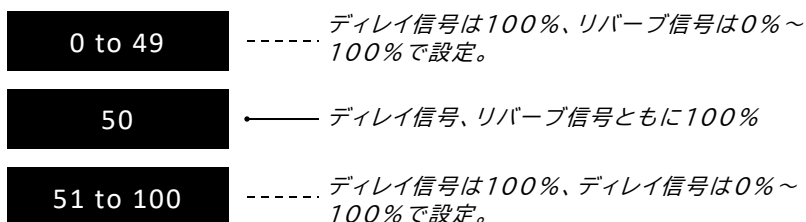
- ◆ TIME : **DELAY TIME**をコントロール
- ◆ MIX : **WET** と **DRY**をコントロール

ディレイ音が逆再生されます。トリガーは入力信号に反応します。
リバーブの機能も備わっており、不思議かつ宇宙的なサウンドが得られます。

- Param 1: **REPEATS** - リピート回数を設定。
- Param 2: **ENVELOPE**



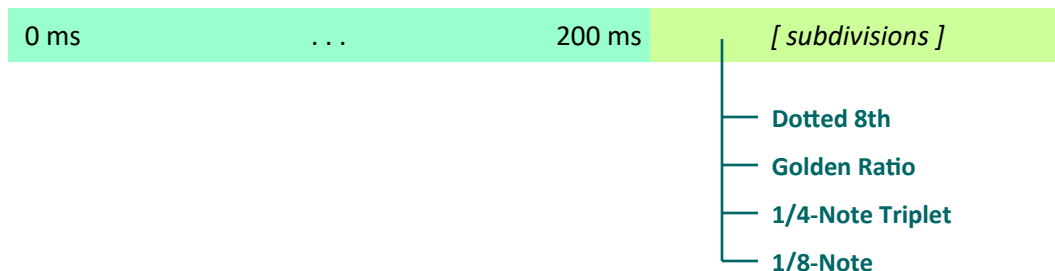
- Param 3: **TONE** - リピート音のトーンを設定。
- Param 4: **MODULATION** - リピート音のモジュレーション量を設定。
- Param 5: **DELAY/VERB MIX** - ディレイ / リバーブのMIXバランスを調整。



- Param 6: **VERB DECAY** - リバーブのディケイを設定。
- Param 7: **VERB TONE** - リバーブの、ディケイのトーンを設定。
- Param 8: **L/R SLAPBACK** - Lchで設定されたディレイ・タイムに対して反応するRchのオフセットを設定。
「Independent」の場合はタイム(0~200ms)を、「tempo-synced」の場合はインターバルを設定します。

- Independent -

- Synced to Global Tempo -



Tips: 便利な使用方法

1. 低い設定 (1 ~ 50 ms)で使用すると、ステレオ・イメージが広がる。
2. 100 ms以上、またはtempo-syncedで設定し、ピンポン・ディレイを作成。

Reverse

(D E L A Y)

REVRSE

(Inputs Summed)

アルゴリズムの制限:

1. Delay Time.

最大ディレイ・タイムは2200msです。

2. Time Change.

タイムの変化モードは「Instant」に設定されます。

Aether

(R E V E R B)

AETHER

(True Stereo)

- ◆ TIME : **PREDELAY**をコントロール
- ◆ MIX : **WET** と **DRY**をコントロール

Hall(ホール)タイプのリバーブ。広がりが大きく広がっていくのが特徴です。初期反射から残響まで細部までコントロールできます。

- Param 1: **DECAY** - リバーブのディケイ(長さ)を設定。
- Param 2: **AIR ABSORB** - 空間に吸収されるリバーブ=残響のトーンの明るさを調整します。
- Param 3: **EARLY/LATE MIX** - 初期反射と、残響のバランスをコントロールします。いずれか100%が最大でEARLYが高いと狭い部屋、LATEが高いと広大な部屋にいるような効果が得られます。
- Param 4: **EARLY SIZE** - 初期反射の大きさを設定。
- Param 5: **LOW** - リバーブの低域量を設定。
- Param 6: **HIGH** - リバーブの高域量を設定。
- Param 7: **MOD DEPTH** - モジュレーションの深さを設定。
- Param 8: **MOD RATE** - モジュレーションのレートを設定。

Cham-

(R E V E R B)

CHAMBR

(True Stereo)

- ◆ TIME : **DELAY TIME**をコントロール
- ◆ MIX : **WET** と **DRY**をコントロール

小さいルームからコンサートホールまで幅広い範囲をカバーします。短～中くらいのリバーブ・タイムで、ルームのような残響を得たい場合に便利なアルゴリズムです。エコーのアルゴリズムが独自の効果を生むため特殊なコントロールとなっており、TIMEはディレイのようにDELAY TIMEをコントロールします。

- Param 1: **DECAY** - リバーブのディケイ(長さ)を設定。
- Param 2: **PREDELAY** - リバーブの効果が表れるまでのオフセットを設定(0～200 ms)。
- Param 3: **AIR ABSORB** - 空間に吸収されるリバーブ=残響のトーンの明るさを調整します。
- Param 4: **DIFFUSION** - リバーブ初期段階の広がりを設定。
- Param 5: **LOW** - リバーブの低域量を設定。
- Param 6: **HIGH** - リバーブの高域量を設定。
- Param 7: **ECHO LEVEL** - エコーのレベルを設定。
- Param 8: **ECHO DEPTH** - エコーの量を設定。

Spring (REVERB)

SPRING
(True Stereo)

- ◆ TIME : **PREDELAY**をコントロール
- ◆ MIX : **WET** と **DRY**をコントロール

スプリング・リバーブのサウンドを再現します。暖かさと、スプリングのトレモロ効果が、独特のニュアンスを生み出しま

- Param 1: **DECAY** - リバーブのディケイ(長さ)を設定。
- Param 2: **SPRINGS** - スプリングの数を設定。



- Param 3: **DAMPING** - リバーブの、高域の減衰を設定。
- Param 4: **TREM SPEED** - トレモロ効果の速度を調整します。
「Independent」の場合は周波数(0.5~10Hz)を、「tempo-synced」の場合はインターバルを設定します。

- Independent -

- Synced to Global Tempo -

0.5 Hz	...	10 Hz	[subdivisions]
<i>min speed</i>		<i>max speed</i>	
1/16	1/5	4/3	6/1
1/12	1/4	3/2	7/1
1/10	1/3	5/2	8/1
1/9	1/2	3/1	9/1
1/8	2/3	7/2	10/1
1/7	3/4	4/1	12/1
1/6	1/1	5/1	16/1

- Param 5: **TREM DEPTH** - トレモロの深さ(強さ)を設定。
- Param 6: **TREM SHAPE** - トレモロのLFOシェイプを設定。



- Param 7: **LOW** - リバーブの低域量を設定。
- Param 8: **HIGH** - リバーブの高域量を設定。

Plate

(R E V E R B)

PLATES

(Input Summed)

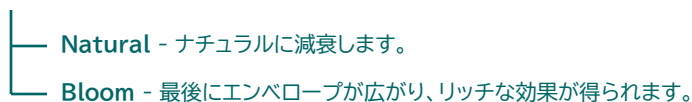
- ◆ TIME : **PREDELAY**をコントロール
- ◆ MIX : **WET** と **DRY**をコントロール

スタンダードなプレート・リバーブです。その密度が高くスムーズな効果は、あらゆるシチュエーションで活躍します。

- Param 1: **DECAY** - リバーブのディケイ(長さ)を設定。
- Param 2: **DAMPING** - リバーブの、高域の減衰を設定。高い設定値ではダークなサウンドになり、ディケイの減衰も早く感じられます。
- Param 3: **SIZE** - リバーブの空間サイズを設定。



- Param 4: **DIFFUSION** - リバーブ初期段階の広がりを設定。
- Param 5: **LOW** - リバーブの低域量を設定。
- Param 6: **HIGH** - リバーブの高域量を設定。
- Param 7: **TAIL SHAPE** - リバーブの尻尾の形状を設定。



- Param 8: **BLOOM INERTIA** - エンベロープの広がる時間を設定。
※ TAIL SHAPEが「Bloom」に設定されている場合のみ)

Spatium

(R E V E R B)

SPTIUM

(True Stereo)

- ◆ TIME : **PREDELAY**をコントロール
- ◆ MIX : **WET** と **DRY**をコントロール

大聖堂のような非常にワイドなリバーブが得られます。
非常にクリアなため、濃い目にかけてもドライ信号に干渉しないのも特徴です。

- Param 1: **DECAY** - リバーブのディケイ(長さ)を設定。
- Param 2: **EARLY ENERGY** - 初期反射の大きさを設定。
- Param 3: **LOW** - リバーブの低域量を設定。
- Param 4: **HIGH** - リバーブの高域量を設定。
- Param 5: **VOICE PITCH** - リバーブ中に含まれるピッチのインターバルを設定。

- Perfect 4th
- Perfect 5th
- Octave

- Param 6: **VOICE INTENSITY** - VOICE PITCHの強さを設定。
- Param 7: **TAIL SHAPE** - リバーブの尻尾の形状を設定。

- Natural - ナチュラルに減衰します。
- Bloom - 最後にエンベロープが広がり、リッチな効果が得られます。

Param 8: **BLOOM INERTIA** - エンベロープの広がる時間を設定。
※ TAIL SHAPEが「Bloom」に設定されている場合のみ。

Shim-

(R E V E R B)

SHMMER

(True Stereo)

- ◆ TIME : **PREDELAY**をコントロール
- ◆ MIX : **WET** と **DRY**をコントロール

リバーブの中にピッチシフトされた音声ミックスされ、ストリングスを鳴らしているかのような効果が得られます。2つのボイスをミックスすることもできます。

- Param 1: **DECAY** - リバーブのディケイ(長さ)を設定。
- Param 2: **INTENSITY** - VOICE 1 と VOICE 2の強さを設定。
- Param 3: **VOICE 1** - VOICE 1 のピッチを設定。



- Param 4: **VOICE 2** - VOICE 2 のピッチを設定。



- Param 5: **VOICE BLEND** - 2つのVOICEのミックス・バランスを設定します。
0の場合はVOICE 1のみ、100の場合はVOICE 2のみ。その間の数値でバランスを調整します。
- Param 6: **EARLY ENERGY** - 初期反射の大きさを設定。
- Param 7: **LOW** - リバーブの低域量を設定。
- Param 8: **HIGH** - リバーブの高域量を設定。

Marble

(R E V E R B)

MARBLE

(Input Summed)

- ◆ TIME : **PREDELAY**をコントロール
- ◆ MIX : **WET** と **DRY**をコントロール

反射の多い空間のリバーブを再現します。

- Param 1: **DECAY** - リバーブのディケイ(長さ)を設定。
- Param 2: **SIZE** - 空間の広さを設定。



- Param 3: **AIR ABSORB** - 空間に吸収されるリバーブ＝残響のトーンの明るさを調整します。
- Param 4: **EARLY ENERGY** - 初期反射の大きさを設定。
- Param 5: **LOW** - リバーブの低域量を設定。
- Param 6: **HIGH** - リバーブの高域量を設定。

Modulat-

(R E V E R B)

MODRVB

(True Stereo)

- ◆ TIME : **PREDELAY**をコントロール
- ◆ MIX : **WET** と **DRY**をコントロール

リバーブとモジュレーションの、コンビネーション。

- Param 1: **DECAY** - リバーブのディケイ(長さ)を設定。
- Param 2: **REFLECTION** - 初期反射の大きさを設定。
- Param 3: **INTENSITY** - コーラス / フランジャーの強さを設定。
- Param 4: **RESONANCE** - コーラス / フランジャーのフィードバック量を設定。
- Param 5: **MOD DEPTH** - モジュレーションの深さを設定。
- Param 6: **MOD RATE** - モジュレーションのレートを設定。
- Param 7: **LOW** - リバーブの低域量を設定。
- Param 8: **HIGH** - リバーブの高域量を設定。

Tremble

(R E V E R B)

TRMBLE

(True Stereo)

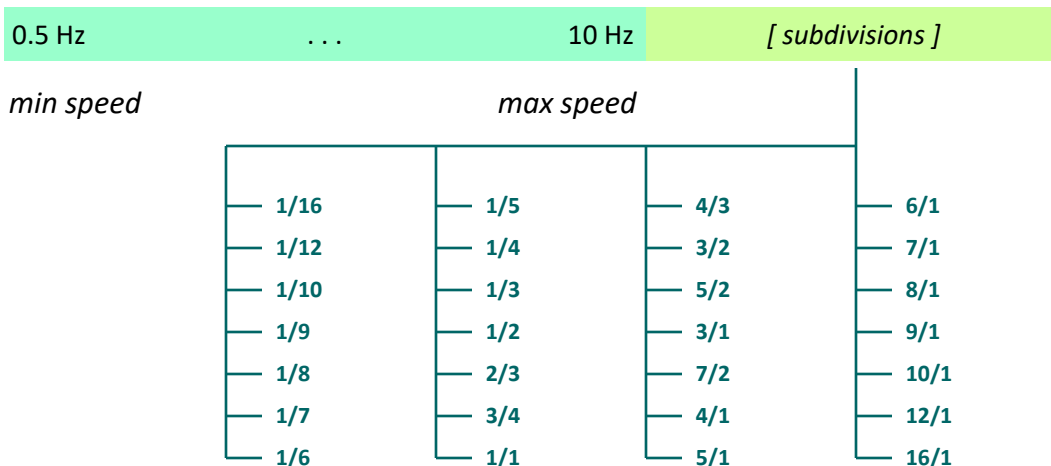
- ◆ TIME knob controls **PREDELAY**
- ◆ MIX knob controls **WET** and **DRY**

音量の増減によるトレモロ効果が、荒々しくリズムミカなリバーブ効果が得られます。テンポは0.5Hz～10 Hz、またはグローバル・テンポにシンクするよう設定できます。

- Param 1: リバーブのディケイ(長さ)を設定。
- Param 2: **LOW** - リバーブの低域量を設定。
- Param 3: **HIGH** - リバーブの高域量を設定。
- Param 4: **TREM SPEED** - トレモロの速度を設定。
「Independent」の場合はタイム(0.5Hz～10Hz)を、「tempo-synced」の場合はインターバルを設定します。

- Independent -

- Synced to Global Tempo -



- Param 5: **TREM DEPTH** - トレモロの深さ(強さ)を設定。
- Param 6: **TREM SHAPE** - トレモロのLFOシェイプを設定。



- Param 7: **TAIL SHAPE** - リバーブの尻尾の形状を設定。

Normal
Bloom

- Param 8: **BLOOM INERTIA** - エンベロープの広がる時間を設定。
※ TAIL SHAPEが「Bloom」に設定されている場合のみ。